

中丹の教育 まなび通信

京都府中丹教育局
第200号
令和6年8月6日

子どもたちの社会的・職業的自立を見据えた中高連携

<中丹地方中高連携推進会議>

7月2日（火）、中丹地域の中学校教員（主に進路指導主任や第3学年担当）と府立高等学校教員を対象に、令和6年度「中丹地方中高連携推進会議」を開催しました。課題提起では急激な社会の変化の中で、今の中学生や高校生が将来社会人として豊かに生きていくために必要な力とは何かについて考え、パネルディスカッションでは、府立高校の先生から各校で子どもたちを誰一人取り残さないために行われている様々な手立てや、子どもたちの将来を見据えた指導の具体について、熱く語っていただきました。研究協議では、社会的・職業的自立のために必要となる力を伸ばしていくためには校種間連携が重要であることや、中学校と高等学校の教員が、生徒の姿を真ん中に据えて語り合うことの大切さを確認しました。各校の先生方には、キャリア教育や進路指導の視点から、中丹教育局の取組の重点である「魅力ある学校づくり」の実現に向け、活発に意見を交流していただきました。

学びの要点

- 多様な子どもたち一人一人を大切に、誰一人取り残すことなく、個性や能力を最大限伸ばす教育
- 幼児期から生涯にわたり、校種等を越えて切れ目なく学ぶことができる教育（第2期京都府教育振興プランより抜粋）
- 一人一人を大切に、可能性を十分に伸ばす学習指導や進路指導を行う。「分かる授業」「学ぶ楽しさ」が「魅力ある学校づくり」に繋がる。
- 中丹の子どもたちに付けたい力は中高を問わず同じである。これが中高連携の共通言語になる。
- 社会に出て必要な力を、学校教育目標を基盤にチーム学校で共有し、日々の教育活動全体に系統的に位置付ける。

参加者の声

- ◆ 生徒が10年、20年先の社会で必要とされる力について教師が見通しを持ち、校種を越えた連携を通して身に付けさせなければならないと感じました。
- ◆ 卒業させた生徒が府立高校でどのように支援をしてもらっているかを実際に聞いて、安心して進学させられると感じました。府立高校の先生たちの熱い思いが伝わり、明日からの指導につなげたいと思いました。
- ◆ この生徒にはどの進路選択がベストな道なのか、一つの選択肢に捉われることなく、たくさんの情報を持ち、一人一人の生徒に向き合っていきたいと思います。
- ◆ 中学校で苦勞されている点は高校でも同様に対応しているものであったことが興味深かったです。中学校の取組を理解することや、中高連携の重要性を改めて感じました。



パネルディスカッション



意見交流と研究協議

子どものより良い変容を実現するコミュニティ・スクール経営

<第1回中丹はぐくみたい力育成会議>

7月8日（月）、中丹管内の小・中学校の副校長・教頭を対象に、第1回中丹はぐくみたい力育成会議を実施しました。今回の会議では、昨年度、中丹管内のすべての公立小・中学校に学校運営協議会が設置されたことを機会に、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を視点にして、中丹教育局の取組の重点である「魅力ある学校づくり」の実現に向け実施しました。

当日は、鳴門教育大学大学院 准教授 大林正史様をお招きし、各市の社会教育委員も参加される中で、講義や演習、研究協議に取り組みながら学びを深めました。

学びの要点

参加者の声

「学校・地域間協働の促進を」

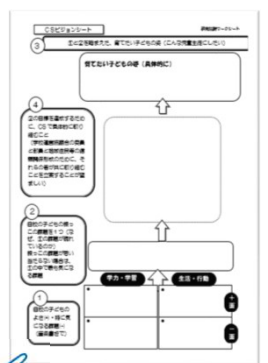
学校運営協議会（地域）と学校とが対等の立場で目標を共有してPDCAを回す。

連携モデル（目標を共有していない）から、協働モデル（目標を共有している）への移行を重視することで、子どものより良い変容を実現する成果が期待できる。

学校運営の協議をするだけのCSよりも、委員や住民が教育活動に関わっている方が、教員のCSに関する成果認識は高い。（以下は成果認識の高かった項目例）

- ✓生活指導上の問題解決
- ✓学校と家庭・地域間の連携促進
- ✓学校の多様化や活性化
- ✓教員による教育活動の創造
- ✓子どもの学力向上 等

- ◆ コミュニティ・スクールを進めるにあたって、学校・家庭・地域がパートナーとして目標（どんな子どもに育てたいのか）を共有することが大切だと改めて感じました。
- ◆ 研究協議の中で、「目標を達成するために、CSで具体的に取り組むことを考えることが難しい」（CSビジョンシートの④）という話題が挙がりましたが、教員だけでなくCSメンバーと一緒に考えてみたいと、前向きに思いました。
- ◆ CSビジョンシートの①（良さや課題）を学校で作成し、追加でご意見をいただきながら、②③④（目標や取組等）を熟議する過程があれば本当の共有になりそうです。地域の方のお力を借りながら進めていこうと思います。

鳴門教育大学大学院
准教授 大林 正史 様

育てたい子ども像や子どもを取り巻く課題について学校と地域とが共有し、育てたい子ども像の実現に向け、学校と地域の協働体制を構築しましょう。

CSビジョンシートは、中丹教育局のウェブサイトからダウンロードできます。（8月末迄）